

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 2

號四三三第・日六十月八輯編局報情

週報 眞實

敵を斬りつけた刀が、いまも響き鳴りしてゐる

時の立札



盟邦の心嚆を授けし 苦難を動せしむる国民



ドイツ銃弾工場の組立工場。合理的な方式で大生産量が實現されてゐる



盟邦の心嚆を授けし。一生懸命、死闘を戦つてゐるヒトラー。ユングの少年も、敵軍が動くために最大努力をしてゐる



食糧の増産確保に、ヒトラー・ユングが参加してゐる戦時下のドイツ。努力不足を克服して今年の小作は昨年作を越えたと云ふ



婦人労働の組立に取組んでゐるドイツ女性。こんどの総動員令で、ドイツ婦女子の勤務階級は十四歳から四十五歳までが、五十歳まで延長された。働き得るドイツの全女性が、生産場に起つたのだ

今のドイツ国民の戦時生活をみて一番感ぜられるのは、彼等が戦争を全く自分のものとしてゐることである。すでに戦争が長期に亘り、また爆撃のため全體が文字通り戦場と化してゐる状態では、これは至極當然のやうであるが、それにしては戦後の全國民が前線の兵士と同じく、戦争といふものに正しくあつてこれをしてゐるにいつてゐること、唯かに敵軍に似ひする。激しい敵の空襲下で何時生命を失ひ、家を失ふかもしれぬといふ危険に晒されてゐる生活は、ちよつと考へると非常に悲惨なものやうだが、戦時下の生活はこんなものと闘つてしまへば、自分の生活をそれに適応させることもできるし、また、そこに落着きも生れて来る。現在のドイツはその意味で本當の長期戦時生活を築き上げてゐるものといへよう。掛け聲に追ひ立てられてセカ／＼してゐるといふやうなところは少しもなく、皆がドラ／＼と戦時生活を闘つてゐる。

空襲の被害はもちろん無視できない。殊に都市に対するいはゆる盲爆は、完全な防衛の手段がないだけに、全くの非難國民に対する懲罰行為と化し、敵軍の無慈悲なやり方に對しては心から畏怖を感じざるを得ない。しかしその精神的影響は、敵の期待とおよそ正反対の結果を生みつゝあり、空襲によつてかへつてドイツ國民の結束を固め、犠牲心を昂揚せしめつゝあることは皮肉だ。昨年のハンブルグ爆撃當時ですでに認められたことだが、ベルリン大爆撃を遂行して最近動員した日本人の話を聞いても、あの爆撃後かへつてベルリンの空気が朗明化され、街がした氣分がなくなり、市民が皆仲よくなつたといふ。つまり財産や持ち物などに執着してゐる間は、人間はなか／＼悟り切れぬものであるが、これが爆撃で皆やられてしまつたとなると、そこに本當に一貫してゐると、皆で助け合つてゆかりといふ氣が生れて来る。これは爆撃に伴ふ大きな精神的教訓といふことができるが、一口に物質的といはれる西洋人が、これまで信じて來てゐる事實は、我々にとつても絶望の石となすべきであらう。

もちろんその裏にはドイツ政府及び黨部の對策が極めて有効迅速に行はれてゐることは見逃すべからざる點で、ドイツ國民として、爆撃でどんなにひどい目に遭つても、最小限の衣食住は完全に保護されてをり、政府の措置に信頼してゐる大丈夫だとの安心を持つてゐることは、何といつても大きな意味である。娯樂なども、取へて戦時色に染りつゝさうとせず、音楽、芝居、映画、運動など、空

襲下においても平常通りにこれを愛護し、戦時生活に不可解の慰安を興へてゐる。爆撃以外の點でも生活の重層は勿論いだが、強制は然然と行はれ、殊に國民全部が自分の責任に即して、いはゆる「義務の公平」が實現せられてゐるとの自信を持つてゐることは、どんな重層にも堪へてゆく氣力と忍耐とを興へるものである。例へば開取引の如き、政府の強制と統制主義とだけで押へられるものでないことは明らかだが、この點におけるドイツ國民の道義は高く評価されて差支へない。これを前線大戦時と比べれば、正に天壤雲泥の差であらう。このやうな國民的運籌の基礎があればこそ、今回ゲラベルス連隊が命令したやうな思ひ切つた國民運動も、果敢に行はれ得る。



ちよ／＼と思ひ切つた手を一刃の刀

獨裁政治といへば、人はすぐ威嚇を恐るゝたがるが、ドイツの内情についても、すべていはゆる政治警察の威力に歸しようとする論者があるが、これは米英側の宣傳に乗せられたものであり、極めて間違つたまた危険な論である。もちろん警察力の行届いてゐることと事實であり、また戦時では絶対に必要なことでもあるが、ドイツ國民にスターリングワイド以来の相次ぐ試練を果敢に乗り切つたものは、戦争の本質に関する徹底的な理解と、ヒトラー總統に對する無條件の信頼感とははかならない。國民の内から湧いて來る自覺がなくして、どうしてからした威嚇を切り抜けることができようか。悪魔論者、不逞者の存在は、戦時下どこでも避けられないが、戦争遂行の中心をなす青少年層、農民および勤勞者の勤勞階級がこの自覺に徹底してをり、またナチス黨の組織を骨幹として實際上下り、若くは勤勞者が政治経済の各方面にド／＼

と組織的地位について活動してゐるといふに、ドイツの戦時生活の不動の強味がある。全體主義ドイツのこの強味を理解し得ないのはデモクラシー諸國の致命的弱點であらう。先般起つたヒトラー總統暗殺未遂事件の報なども、かゝる強固な勤勞の精神には水の中のやうに消え去つてしまはねばならなかつた。プロレタリア層の再興を夢見る如き及動な將軍や、貴族の一味が何を企てたところで、巨大な歴史の機車の前には無力であり、りもなく押し潰されてしまつたのは當然であらう。いはんや彼等一味が、この戦争を年々可成り強固に片づけられると思つてゐたはずは、その愚かさに放つておいては、そのものが、この事件は一時的に敵側に宣傳の題目を興へたことは否まれないが、ドイツ政府は常にこの機會をとらへて、總動員令の遂行を遂行し、彼等をさらに一段と引き締めることに成功した。殊にヒトラー總統が、全く動員し得ないと思はれない状態において、無罪を受けただけであつたことは、奇蹟といふのはかなく、これがどれだけドイツ國民に元氣をつけたか分らない。ヒトラー總統自身も、これをもつて、神から降された使命を従順に引續き遂行せよとの神意であると信じて、ますます挺身奮闘するの決意を明らかにしてゐられるのである。

聞かれれば昨年初めスターリングワイドの勝利以来のドイツは、内外の環境安んずるの状況であつて、その間にドイツ國民の受け取つた精神的物質的な重層は、益々切迫に餘るものがある。しかしながら民族の偉大性、それがよく歴史を積み重ねるやうな威力は、かゝる難局に當つてこそはじめて發揮せられるのである。心あるドイツ人がこの難局をもつて、神がドイツ民族に課した試練と解釋してゐるのは、ことに宜なるかなといふべく、さればこそドイツ國民はどんな苦難をも恐れず、その正面からこれに取組んでいつてゐるのである。今回ゲラベルス連隊の命令した勤勞運動は、一見しただけでも決して生易しいものではない。しかし戦争が今日の段階に達した際において、如何なる他の理由があらうとも、それに従ひ、戦争遂行に協力を生ずるとは絶対に許されぬ。その意味で、ドイツは今や文字通り、國民の全力をあまらず総動員してこれを戦力化せんとしてゐる。勝利のためにはあらゆる努力を盡し、仆れて後止まぬドイツ國民の意氣が、實に驚異としてゐる。我々は盟邦のこの奮闘に對し、衷心敬意を表するとともに、日英兩國が東西相争へて最後の勝利に邁進せんとの決意を、さらに深くするものである。



畫 郎太事田岩 圖像想戰奮軍勇義ンヤニテ

階段大重局戦ナアリマ

その後マリアナ方面の戦況は、刻一刻 隊 迫の度を増のみである

大本營總機(昭和十三年八月十日) マリアナ方面守備部隊その後の奮戦状況左の如し

一、大宮島に於ては敵上陸以來、明石街及び 昭和街を中心として敵に多大の損害を與へつ つありしが、現在は概ね明石街北方地区に戦 線が縮小され、奮闘中なり

二、テニアン島に於ては北那覇隊に敵上陸以 來、真兵を以て有力なる敵の南下を阻み多大 の損害を與へしも、昨三十二日敵は遂に同島 南部の我が最後の抵抗線に侵入し米軍繼續 繰りあり

三、ロケ島に於ては連日敵の進軍なる態勢 下に作りて敵の侵入を阻止しあり

激戦の如く、或は怒濤の如く迫り来る敵 を支へて、將兵は奮戦を續けてゐる。正に何 修繕となつて敵を撃つ神兵の姿が輝き浮ぶ。 五體はこれすべて灼熱の國魂と化し去り、血 潮はたゞ愛國の精神に燃えさかつてゐる であらう。しかも神兵は、帝國の必勝を信じ て水ぎくに散華されてゆく

これに應ふる者は、われらもまた心の底か ら帝國の不敗を絶叫することだ

殊にマニヤン島では、在留同胞の うち、十六歳から四十五歳までの 青壯年男子およそ三千五百名が義 勇隊を組織し、將兵と共に敢闘を 續けてゐる。國民の總武装はすで に皇土の一角で實施され、しかも



隊員ンヤニテためんでん廟に廟練の道武らかか前戦、てつあに塔南の衛防土國

武器をとつた同胞は、この瞬間も 敵と相搏つてゐるのである

義勇隊は命令されて起つたものでは ない。やむにやまれずといふより、祖 先以來の血がからいふ場合、どうすれ ばよいかはつきり訓へてゐる。その導 きに欣んで従つたまでだ

いまこそ、皇土に生を享けたものは、 一草一木にいたるまで、腥風にさつさつ とそよいで怒りにふるへてゐると知れ

週問點上掛

「すべてを戦争へ」
これが決戦、國の今、われらの心懸へでなけれ ばならぬ
大本營と政府との連絡會議に代つて、強力な 最高戦争指導會議が設置せられた所以もまた 此にある。政略兩略の融合なつて、戦争一本 の筋金は通り、總力振起の態勢全し

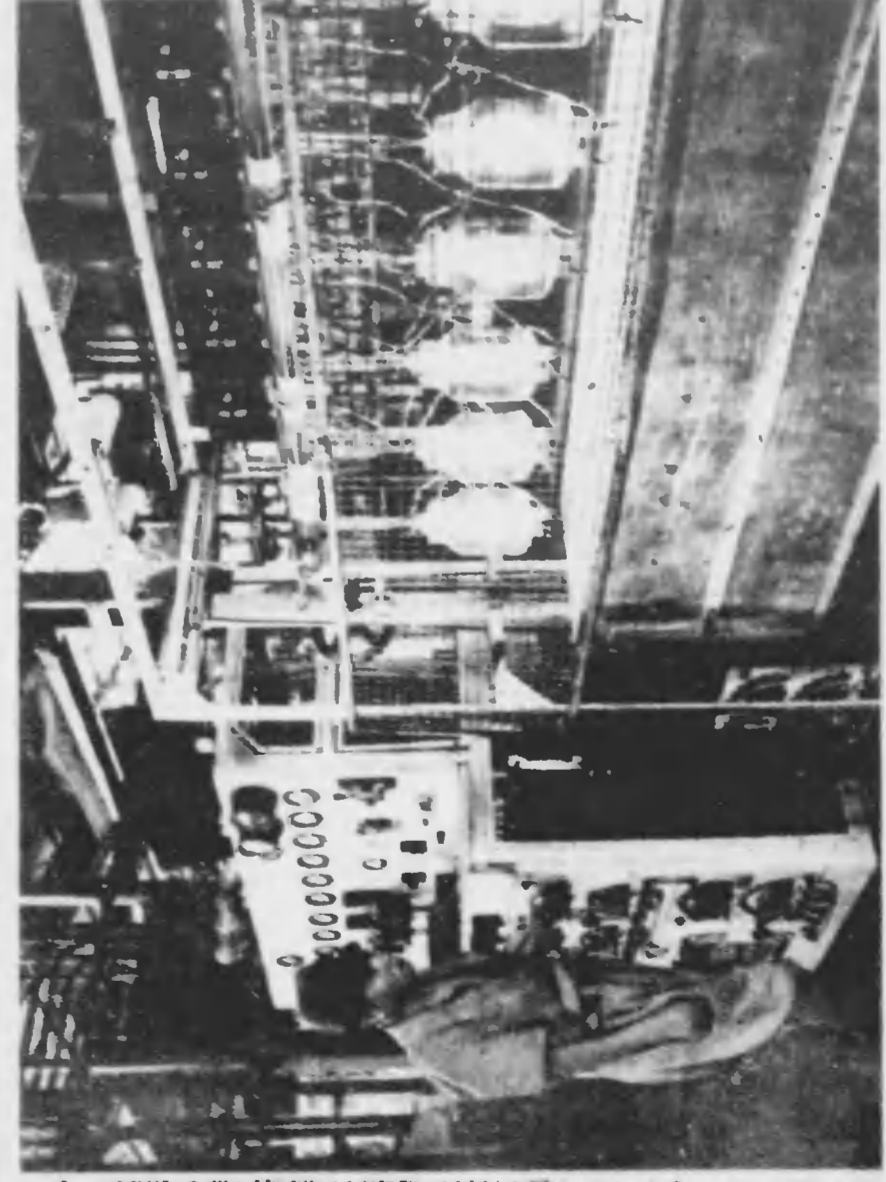
×
國難に到ることと懸念した父祖の血が、われら の身の内に叫んでゐるではないか
「時は今だ」と
老いも若きも、男も女も總武装だ。國內敵艦に 環形米鬼を撃つて、マリアナの仇を報せん

波電で待つ兵器前線

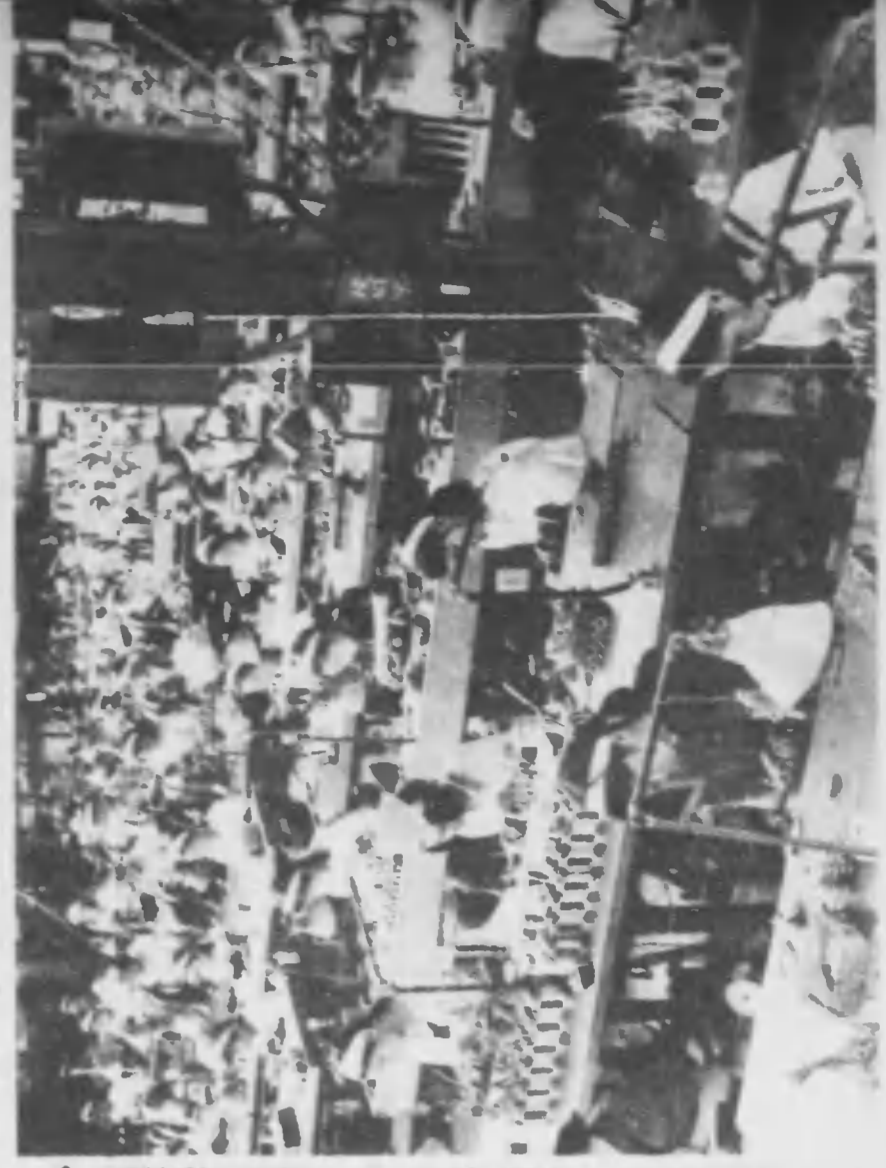
電波兵器は今度の大戦が生んだ革命的な兵器の一つであり、近代戦にとって如何に大切な兵器であるかは最近では誰でも知つてゐる。電波兵器の出現は、航空機とか、軍艦とか、大砲とか、攻防いづれにせよ、戦國の主力をなしてゐるあらゆる武器に、實に鋭敏な觸角を興へた。航空機も、潜水艦も、この觸角から逃れて敵を奇襲する事は出来ぬ。一方、電波兵器の出現は、海軍の勢力を削ぐに役立つ。海軍の勢力を削ぐに役立つ。海軍の勢力を削ぐに役立つ。

でも、また戦役でも、この觸角によつて正確に目標を捉へ、確實にこれを攻撃することが出来る。電波兵器を持つてゐるとおかないのでは、正に目撃と音の戦争だ。またその威力によつては、小艦と大艦との射ち合ひになつてしまふのである。現在、一機でも一艦でも、前線から要求されてゐる。しかし、

とを忘れてはならないのだ。電波兵器を持つたに敵の軍艦に突込んでゆゑ電撃戦は、目撃して敵の陣幕の前に立たされるのと等しい。一機一艦、さらに一機でも多くの電波兵器を、これこそ前線の

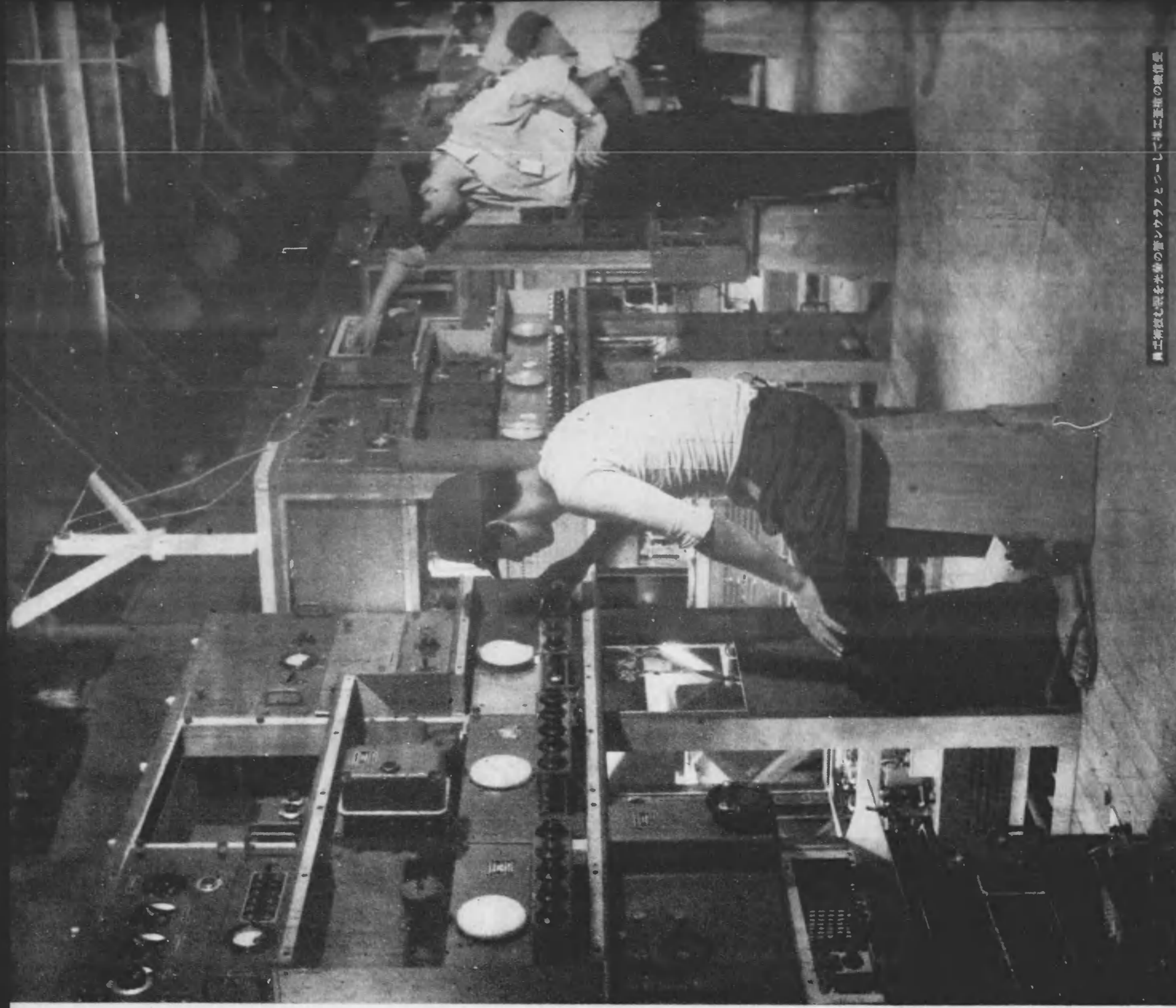


電撃戦の準備作業には精密な作業を要する。多量と、電撃を叩き出す為にも似た勇ましい汗だくの仕事である



大空襲の脅威高く、組立作業に要する女子挺身隊員。こゝでは各種の組合員が組立てられる

電撃兵器の製作工場

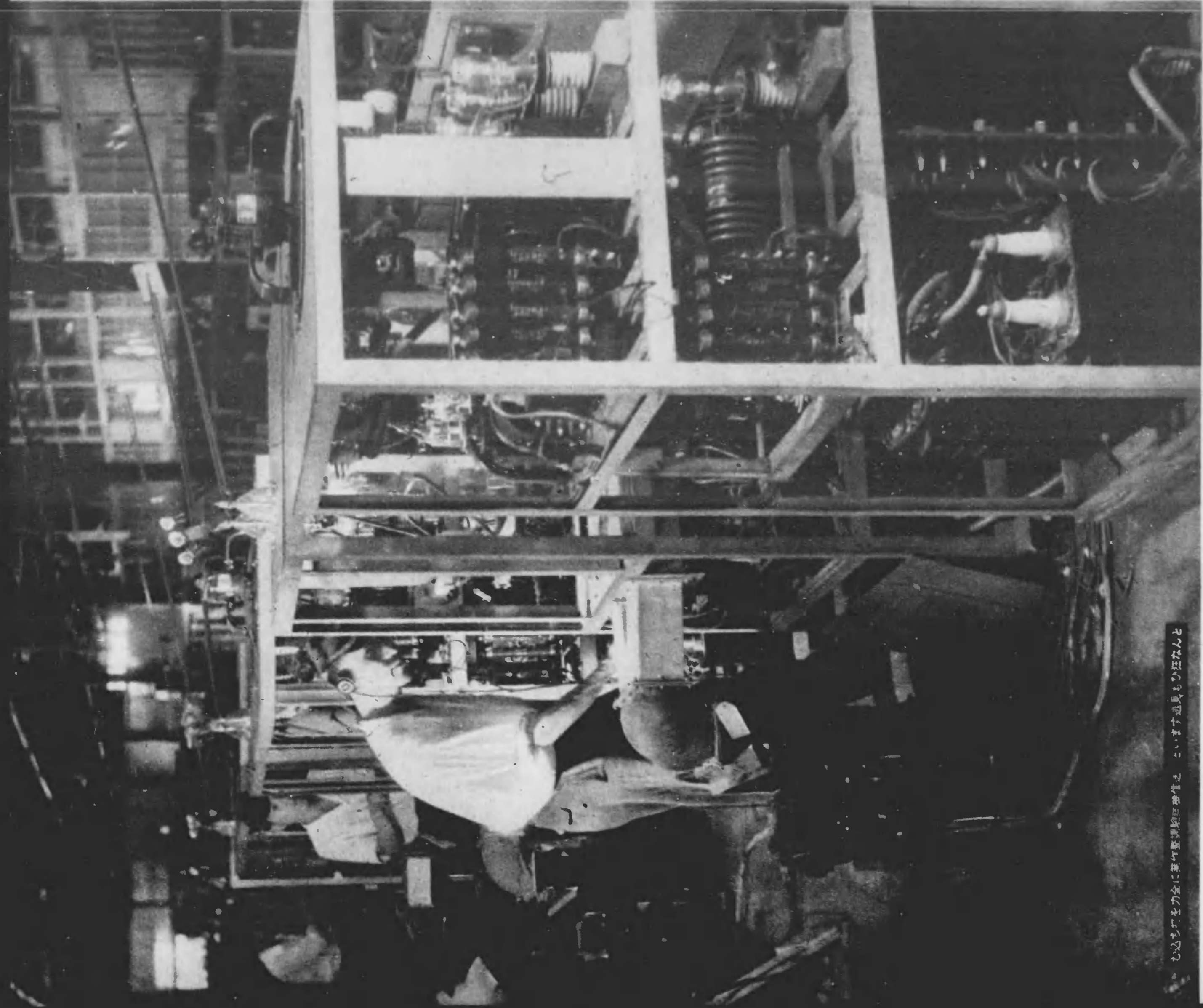


前線では電波兵器も待っている

電波兵器は今日の大戦からいふ所の新兵器の一つであり、現代戦に於て如何に大切な兵器であるかは最近では誰でも知つてゐる。電波兵器の出現は、航空機とか、軍艦とか、大砲とか、攻防いつれにせよ、戦場の主力をなしてゐるあらゆる武器に、實に敵軍の陣地を襲へた。航空機も、潜水艦も、この陣地から逃れて敵を奇襲することは出来ない。一九三九年航空機は、陣地の中でも、霧の中

でも、また潜水艦も、この陣地によつて正確に目標を捉へ、陣地にこれを攻撃することが出来る。電波兵器を持つてゐるとおぼえないのでは、正に目前と首の戦争だ。またその機劣によつては、小銃と大砲との射ち合ひになつてしまふのである。現在、二機でも一機でもと、前線から要求されてゐる。しかし、その二機、一機には必ず優秀な電波兵器をつけてやらねばならぬ

とを忘れてはならないのだ。電波兵器を持つてゐるに敵の陣地に突込んでゆき、電波兵器は、目撃して敵の陣地の前に立たされるのと等しい。一機二機、さらさら一機でも多くの電波兵器を、これこそ前線の要領に懸けるわれらの軍務でなければならぬ

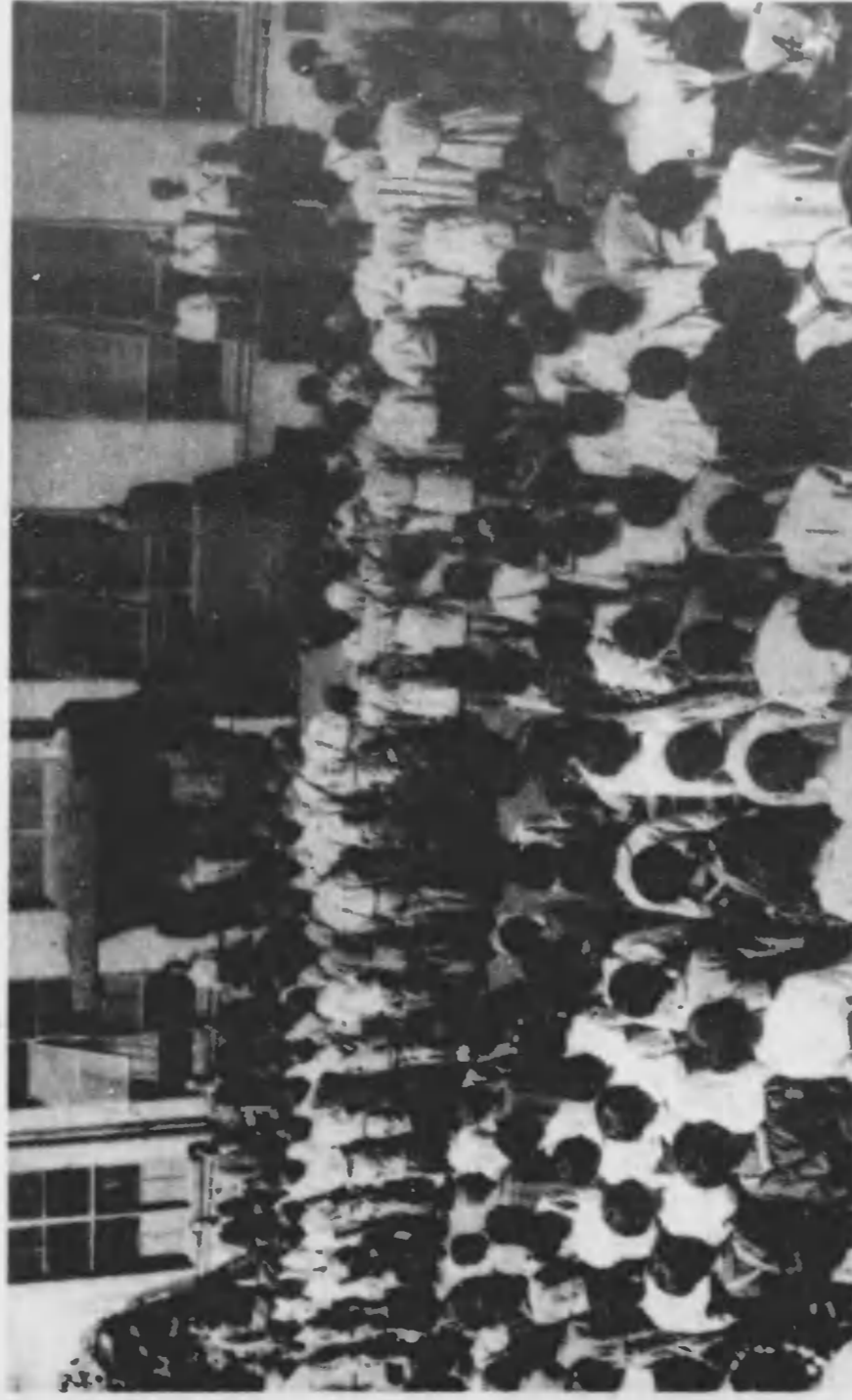


むだも力を全に製作電波兵器の陣地。こゝにます進歩もひびきんと



しなやかな女の指先が、電波兵器の心臓部である電波管を正確に調整に働かしてゆく





進開疎團集の童學
は日勝のま

1 出発も近づいた頃、子供隊のお友達が集つて壮行會をやってくれました。町会長さんもお見えになつて、面白いお話をして下さいました。

2 今日はいよいよお荷物の出る日です。先生やお父さんお母さん方が大動隊校に集つて、勤勞奉仕をなさいました。私達もみんなでお手伝ひいたしました。

3 歸へいつてみましたら山のやらの荷物でした。歸の人達が、疎開學童の荷物は早く送つてやれと、いつてお話を聞いておりました。

4 出発の朝は八時に学校へ集つてお別れの式をいたしました。昨夜から警戒警報が出ておりましたが、お父さんやお母さんをはじめ、隣りのお友達もみんな勇ましい防空服で送つてくれました。

5 いよいよ出発です。萬歳の聲に送られ、元氣で校門を出ました。水い間禁しく熱い太陽が去るときはまよつと淋しかつたけれども、戦争に勝つためにはどんなことでも我慢しようと思ひました。

6 休憩のときお母さんのところへゆくと、「我慢しないで勇気に氣をつけてね」と、また同じことをいはれました。お母さんなら、今朝からもうこれで五へん目です。

7 陣内に入ると、もろびらの乗る列車が着いておりました。先に乗つたお友達が窓から顔を出して、早く早くといふので、みんな駆け出してしまひました。まるで遠足にゆくときのやらの賑やかでした。

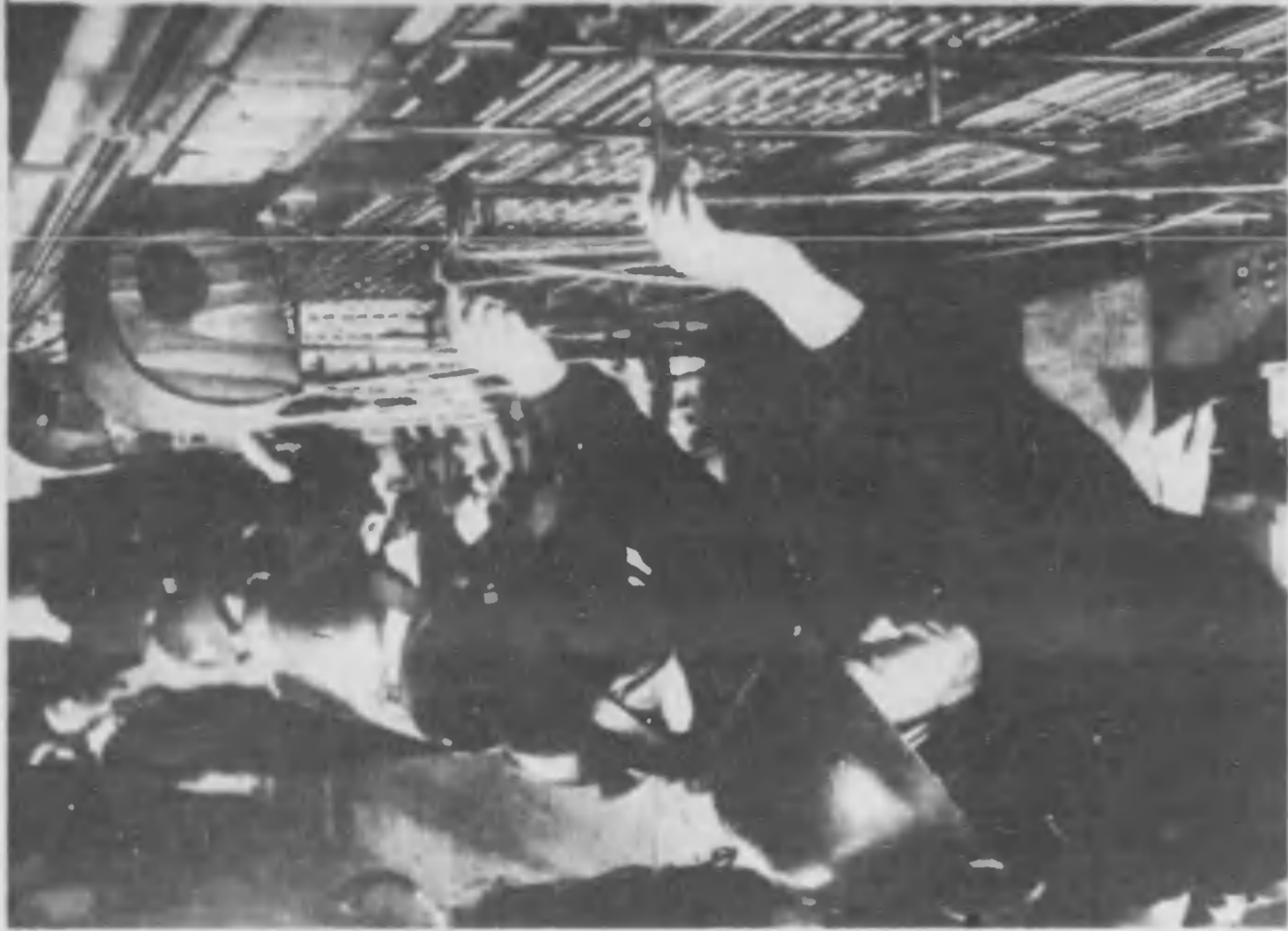
大都市の學童集團疎開が八月から東京都を皮切りに展開された。

國內即戦場の現代戦では、大都市は最後の主陣地であり、當然敵の空襲を警戒せねばならないので、一つは防空態勢の整備のため、一つは明日の國民の保護のため、なるべく多数の學童を近隣の安全な地域に疎開させねばならない。

今度の集團疎開は、全國で三年以上六年生までの學童約四十万が疎開され、そのうち東京都は二十万であつたが、中には豫定數を六方も超過した。それに終戦疎開列車を加へれば、實に莫大な數になる。

この大きな成業の遂には、並々ならぬ當局の努力と、兩親の決断と、地方の協力があつた。幾多の困難を毅然とふかこえて、國家の大きな保護の下に、親も子も笑つて勝利の道を選んだ。地方の山野は遠くこれらを迎へて、早くも學童の集團を作り上げてゐる。戦ひの前には小さな離別の悲しみを乗り越えたヨイヨイ女たちは、終戦の日までを逞しい集團生活に明け暮れしようと決意してゐるのだ。





空襲下の電報・電話の心得

「君の家はみんな死んだ。君のところは大丈夫だつたか」
などといふやうな電話をあわてて空襲後にかけようと思つても、かけられません。では空襲時には、郵便や電報や電話のいはいゆる通信はどんなふうに制限されるのでせうか。まづ第一に

重要緊急な通信

を保障なく行へるやうにしなければなりません。そこでやむを得ず、よだん行はれてゐる通信も必要に應じ地味や期間を定めて、一部または全部の制限を行つたり、或ひは業務の停止を行ふことになつてゐますから、國民はあらかじめ相當の準備を推想してゐなければなりません。勿論どういふものがどういふふうに制限されるかは、郵便局や電信局、電話局などに相談されますし、ラジオや新聞でも知らせますからよく分ります。まづ初めに

郵便

について申し上げます。空襲下に制限される郵便物の制限は左の如きものであります
一、引受の制限
送付が困難になつた場合、大きさや目方を減らしたり、または差出数を制限することがあります
二、引受の停止
(イ)小包や新聞、雑誌、取寄などは必要に

なく、引受を停止することがあります
(ロ)普通や留書のやうな特殊取扱も行はれなくなる場合があります
(ハ)遺書や遺状はどんな場合でも取扱方針ですが、最後には遺書だけになることもあります

電報

を保障なく行へるやうにしなければなりません。そこでやむを得ず、よだん行はれてゐる通信も必要に應じ地味や期間を定めて、一部または全部の制限を行つたり、或ひは業務の停止を行ふことになつてゐますから、國民はあらかじめ相當の準備を推想してゐなければなりません。勿論どういふものがどういふふうに制限されるかは、郵便局や電信局、電話局などに相談されますし、ラジオや新聞でも知らせますからよく分ります。まづ初めに

電報

を保障なく行へるやうにしなければなりません。そこでやむを得ず、よだん行はれてゐる通信も必要に應じ地味や期間を定めて、一部または全部の制限を行つたり、或ひは業務の停止を行ふことになつてゐますから、國民はあらかじめ相當の準備を推想してゐなければなりません。勿論どういふものがどういふふうに制限されるかは、郵便局や電信局、電話局などに相談されますし、ラジオや新聞でも知らせますからよく分ります。まづ初めに

と考へて、よくく観をつけねばなりません
(ハ)要するに災害地からは被害者が重要な遺物指図の打合せをするための通信は差支へありませんが、被害の様子は絶対に避け、必要なことだけを最小限度に通信する心構へでなければなりません。空襲状況



「主人は無事でしたの？」
「おかげさまで、でも、とてもひどい被害で町が全滅になり、やつと助かつたさうですわ」
空襲の模様、被害状況は断して書いてはならぬ。万一、そんな不心得な手紙を受けても、すぐ焼きすてて決して口外するな。敵は空襲材料を探し廻つてゐるのだ

災害による被害者や遺者が電報を打たうと思つても、現金を一銭も持つてゐないときは、電報料金の受信人拂といふ特別な取扱がある



空襲下の電話はどうなるか

國民の耳ともいふべきラジオは、警報警下でもいつもと同じやうに放送されておますが、空襲警報が発令になると、電波を繰り返して敵機が侵入してくるのを防ぐため、例へば「〇〇地区に空襲警報が発令されました」と警報を傳へて、後は放送を一時停止します
しかし、敵機が退散したり、或ひは情勢を知らせなければならないときは、放送が再開されますから、もうきこえないといつて、受信機のスライダを切つてはなりません。そしてからした

の報告は、防護上、特に禁ぜられてゐますからご注意ください。これは電話や手紙についても同様です
二、配達の特別
郵便物の場合と同様に、受信者に直接局まで受取りに来て貰ふことがあります
最後に

「主人は無事でしたの？」
「おかげさまで、でも、とてもひどい被害で町が全滅になり、やつと助かつたさうですわ」
空襲の模様、被害状況は断して書いてはならぬ。万一、そんな不心得な手紙を受けても、すぐ焼きすてて決して口外するな。敵は空襲材料を探し廻つてゐるのだ



災害による被害者や遺者が電報を打たうと思つても、現金を一銭も持つてゐないときは、電報料金の受信人拂といふ特別な取扱がある

電話

を保障なく行へるやうにしなければなりません。そこでやむを得ず、よだん行はれてゐる通信も必要に應じ地味や期間を定めて、一部または全部の制限を行つたり、或ひは業務の停止を行ふことになつてゐますから、國民はあらかじめ相當の準備を推想してゐなければなりません。勿論どういふものがどういふふうに制限されるかは、郵便局や電信局、電話局などに相談されますし、ラジオや新聞でも知らせますからよく分ります。まづ初めに

空襲警報は、特設線の中でもきかれるやうに、機へ入る前に近くにつしを刺さ付けておきます
またラジオの受信機や電話機は、機風に壊れやすく、その上、なか／＼手に入りにくいものですから、警報と同時に機上や機の上のやうな高いところから、低いところ、機の上などへ下して、蒲団などをかぶせた方がよいでせう
もちろん空襲などで壊された受信機は、既空や部分品を放送局で用意してありますが、これも限りがありますから、できるだけ修理やリペアを切つておきます

電話

は空襲警報が発令時及びその直後には、左の如き制限がとられます
一、通話の制限
空襲警報が発令時から解除後、時間以内(警報解除の場合は解除後五時間以内)通話の通話は別に制限)は、市内外を問はず左記以外の一般通話は禁止されます
(イ)防空業務または警備業務の必要な通話
(ロ)軍、官公署または戦力増強上緊要なもの重要な通話
(ハ)急病のため医師の來診を求めるとき、緊急やむを得ない私用通話

電話の切斷

一般加入者が右の通話制限を守らず、なほ通話が混雑して重要な通話の妨害をする場合には、やむを得ず加入回線を電話局で切斷することもありますから、加入者は特に自覚してほしいと思ひます。しかし公衆電話や郵便局の窓口通話は、できるだけ繼續して取扱はれる方針です
右は空襲警報が発令時または解除直後の制限であります。警報警下にあつても防空警報その他の重要な通話に支障を與へぬやう、加入者の自覚を望みます
このやうに空襲時には、通信にも相當の制限が加へられますが、國民一人々々がよくこのことを知つて自覚しないと、たゞでさへ人手の足りないところへ、郵便物や私用電話が溢れ出して、結局届くべき手紙も届かず、切られないでもよい電話線も切られて、よい思ふことになりません
また手紙や電報などにして、災害地では住所が紛失したりがちなため、折角の通信が届かなくなつたりすることが考へられますから、からした無用の混雑を避ける上にも、住居を變へたときは、必ずまづ空襲警報局や電信局へ届けておかねばなりません
要するに通信は戦争下における國家の神聖のやうなものですから、あまりこれを重んじないやうにして大事に處ることが必要です

電話の切斷

一般加入者の電話は、電話局で切ることになります。公衆電話は、郵便局の窓口取扱ふ通話は、できるだけ取扱はれる

陸軍の話

みなさん、この話が読めますか—あつてと、晴々とした。陸軍とは、では一機なんのとせう
中等學校の方はもちろんのこと、國民學校の皆さんでも日本のヨイコなら、兵隊さんの持つてゐる小銃の内側に何枚かの紙が切つてあることと、その紙によつて発射された弾丸が割断させられて、既成に飛んでゆくのだといふことくらいご存じでせう。陸軍とはその機とのたのです
機銃の主軸から—機銃のやうな小さなものまで、およそ細長い弾丸を打ち出すものには必ず隙間が切つてあります。いま細長い弾丸といひましたが、現代の弾丸はみな(第一圖)のやうな形をしてゐます。これは弾丸をなるべく遠くまで飛ばせるためで、弾丸は一定の重さの弾丸の空気抵抗は弾丸の太さ、つまり、空気を押し分けて進む面積(第二圖)が小さいほどよいわけ、進めれば、(三)の面積をなるべく弾丸の前方を重くするほど弾丸は遠くへ飛ぶことができます。従つて弾丸は太さより長さをやつと長くするやうになつたので

「主人は無事でしたの？」
「おかげさまで、でも、とてもひどい被害で町が全滅になり、やつと助かつたさうですわ」
空襲の模様、被害状況は断して書いてはならぬ。万一、そんな不心得な手紙を受けても、すぐ焼きすてて決して口外するな。敵は空襲材料を探し廻つてゐるのだ



ところが陸軍のない機でこの弾丸を發射すると、弾丸は後向し、機などからやうやくちの方向をとり、とても空襲警報が響くところではあつません(第四圖)です。弾丸が機銃の空襲警報の力が第一圖(イ)のやうに弾丸の重心より前方に偏るからです
では陸軍があれば何故ならぬのでせうか。弾丸を發射すると弾丸は陸軍に吸ひ込まれるので、機銃の機銃に吸ひ込まれ、非常な速度で射撃しながら飛ぶからで、機銃には、機銃が射つてゐる間には機銃と同じやうに、機銃する機銃の方向を一定に保たうとする性質があるからです

陸軍の話

陸軍の話は小説に四本、二十四歳、八十本位、採れ方は種々ですが、小説についていへば約二十歳の長さで二回読む位でせう
従つて小銃を發射した時の弾丸の速さは、一時間に六百メートルほどですから、弾丸は一時間に約三千回も射撃しながら飛ぶことになり、この陸軍があればこそ細長い弾丸が用いられ、重い弾丸であれば三十五キロ、四十キロ、飛ぶのです

